

はなまき市議会だより

花の風

第82号

令和7年2月1日

おくじ

- 2 12月定例会の概要、議案審議
- 5 一般質問
- 11 議会報告会
- 12 議会モニター会議、請願
- 13 意見書
- 14 常任委員会等の活動報告
- 16 ちよつと一言、議会の動きほか

可決 国民健康保険税引き上げの条例改正

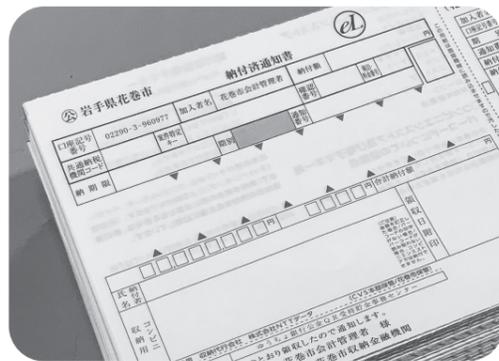
県内の国民健康保険税の統一を見据え、令和11年度までに単年度収支の均衡がとれる水準に引き上げるため国民健康保険税の税率の一部を改めようとするもの。

反対討論

【櫻井肇 議員】

国民健康保険税負担における後期高齢者支援金および介護納付金について、今後5年間にわたって毎年4,900円引き上げるもの。国が進める都道府県統一化によるものであり、この間花巻市が努力して取り組んできた数度にわたる税負担の軽減に水を差すものである。

国が国保事業を社会保障の柱として、国保財源を投入すべきである。

**可決** 進む桜台小学校長寿命化工事

本校舎棟北側の外壁および建物内部の建具や内装部分の劣化が設計調査結果による当初見込みより著しく、追加補正が必要となったことから工事費を2,329万8千円増額し、6億6,623万7千円とするもの。

質 疑

- 質問…設計の際、見落とししていたことがあったのか。
答弁…長寿命化工事の特性として、工事前に詳細な調査が難しい点が挙げられる。特に外壁の場合、足場を組んで目視調査を行うことになるが、実際の状態は壁を撤去して初めて確認できるものである。
- 質問…国から長寿命化工事に対する補助があるがその場合、再申請を行い、補助額を変更するのか。
答弁…今までの変更を含め、国の補助は、最終的に終了した工事について補助申請として変更する。



【表紙写真について】

- タイトル You've got a friend (君の友達)
- メッセージ 小さな雪だるまができて大満足の様子。一緒に過ごす時間は短くても、君には心強い友達がいるね。この冬の特別な仲間たち。

12月定例会 提出された38議案を可決

令和6年第4回花巻市議会定例会は12月6日開会、12月20日までの15日間の日程で開かれました。12月9日、10日、11日には一般質問に15人が登壇し、市政課題について質問しました。

12月13日には議案審議が行われ、新たに立ち上げることも食堂運営事業費などを含む令和6年度花巻市一般会計補正予算(第8号)、花巻市国民健康保険条例の一部を改正する条例、桜台小学校長寿命化改良(建築)工事の請負契約の変更に関し議決を求めることや田瀬湖オートキャンプ場の指定管理者の指定の期間の変更に関し議決を求めることなど提出された37議案を原案のとおり可決、1件の専決処分と報告をそれぞれ承認しました。

最終日の12月20日には、イーハトーブ花巻応援寄附金に10億円を追加する令和6年度花巻市一般会計補正予算(第9号)が追加提案され原案のとおり可決しました。

また、文教福祉常任委員会で審査した請願が採択となったほか、意見書案3件を賛成多数で可決しました。

主な可決議案や質疑は以下のとおりです。



審議の様子は
こちら

可決 令和6年度花巻市一般会計補正予算(第8号)

37億5,634万5千円を追加し、歳入歳出それぞれ総額627億3,356万2千円とするものです。
※市議会が注目した主な補正予算は次のとおりです。

◆新たに立ち上げる子ども食堂の準備経費等の補助金を増額

…子ども食堂運営支援事業費に115万円追加補正しようとするもの

質 疑

- 質問…6月定例会において子ども食堂運営事業支援に補正予算320万円を計上しているが、今回の補正予算の内容を詳しく伺う。
答弁…1団体が新たに子ども食堂を立ち上げることとなり、立ち上げ経費とともに補助のあり方を見直し、検討して補正予算総額115万円となったもの。

◆イーハトーブ花巻応援寄附金の増額に伴う事業費の追加

…令和7年度の事業の財源として12億5千万円を積み立てるもの

質 疑

- 質問…今年度の補正予算で、イーハトーブ花巻応援寄附金、12億5千万円を積み立てることによって積立額はいくらになるのか。また、市民の暮らしに役立てるような給食費無償化などに使えないか伺う。
答弁…昨年度創設した基金で、昨年度末に15億円積み、今年度取り崩して事業に運用しており、今回追加した12億5千万円が今年度はそのまま残額となる。臨時的収入経費を経常的な給食費に充てるのは将来を見据え、慎重に考えねばならないと思っている。

◆観光ルート整備事業費を増額

…団体旅行貸切バスツアー支援事業補助金不足見込額945万円を追加するもの

質 疑

- 質問…観光ルート整備事業のうち、海外の団体バスツアーには賢治記念館や童話村の周遊も事業に含まれているのか伺う。
答弁…補助対象とするバスツアーは市内宿泊施設に泊まることを条件としており、市内の観光地への周遊については条件とはしていない。

一般質問

12月定例会では、15人の議員が登壇し、市政全般のことについて質問を行いました。

令和6年第4回花巻市議会定例会 一般質問一覧（登壇順）

佐藤 峰樹 議員 (明 和 会)	①地域共生社会の実現について ②岩手県化製油脂協同組合に係る悪臭公害対策について
本館 憲一 議員 (はなまき市民クラブ)	①新花巻図書館の建設地について
伊藤 盛幸 議員 (緑 の 風)	①新花巻図書館の整備について ②生涯学習について
照井 省三 議員 (社民クラブ)	①特定公契約を締結している事業所に勤務する労働者の処遇等について ②地域医療（人工透析）及び介護施設整備について
久保田彰孝 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①ふるさと納税について ②新花巻図書館について
盛岡 耕市 議員 (明 和 会)	①イトーヨーカドー花巻店撤退における対応について ②後川の内水氾濫対策について ③区長制度について
羽山のみ子 議員 (はなまき市民クラブ)	①早池峰地域のユネスコエコパーク登録について ②校外での自主学習活動について ③総合花巻病院について
鹿討 康弘 議員 (緑 の 風)	①子育て中の母親やシングルマザーの就労支援について ②不登校児童への対応について
阿部 一男 議員 (社民クラブ)	①農業問題について ②有機農業について ③総合花巻病院について
照井 明子 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①投票率向上について ②国民健康保険及び後期高齢者医療制度について ③自衛隊への個人情報提供について
小森田郁也 議員 (緑 の 風)	①UIJターン促進のための奨学金返還支援制度の構築について ②地域優良賃貸住宅等支援事業について ③市営住宅の有効活用について
櫻井 肇 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①消費生活相談体制整備事業について ②農業振興について ③職員体制について
似内 一弘 議員 (緑 の 風)	①財政運営について ②リノベーションまちづくりについて
佐々木精市 議員 (会派に所属しない)	①自殺対策について ②小中学校におけるいじめ問題について
菅原ゆかり 議員 (会派に所属しない)	①市内の防犯について ②イトーヨーカドー花巻店の撤退に対する市の対応について

◆ 一般質問とは
議員が市政全般のことに関して、市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、報告、説明を求めることです。年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

◆ 質問時間は60分
花巻市議会では、答弁を含み制限時間60分以内で質問を行います。

◆ 発言の通告
質問する議員には、前もって質問内容を記した発言通告書の提出を義務付けています。通告とするのは、発言の順序や発言時間を整理し、議員に発言の機会を平等に与えることを保障するとともに、議事の能率的運用を促進するためです。

可決

～指定管理者の指定期間を変更～ 田瀬湖オートキャンプ場等の指定管理者を公募

田瀬湖オートキャンプ場および花巻市釣り公園管理休憩施設の指定管理者から高齢化などの事情により継続が困難との申し出があり、指定の期間を変更するもの。

質 疑

- 質問・・・田瀬地域以外の方でも、この施設に関心を持っていただく方が良いのではないかと。
答弁・・・地区のコミュニティにも相談したが、人材を地元から探すのは難しいため指定管理者については公募することにした。
- 質問・・・賃金に対する社会保険料算定の取り扱い基準は、それぞれの施設によって異なるものか伺う。
答弁・・・人件費については、委託する施設の中身などによって単価などが違っているが、それに応じた社会保険料を適正に支払っていただくものと考えている。



田瀬湖オートキャンプ場

賛否が分かれた議案等の審議結果

議案 137	花巻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
請 願 8	「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性のある学校の働き方改革を求める意見書の提出を求めることについて
意見書案 4	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について
意見書案 5	「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止を求める意見書の提出について
意見書案 6	実効性のある学校の働き方改革を求める意見書の提出について

議員名	明和会			はなまき市民クラブ			緑の風			社民クラブ			日本共産党花巻市議会議員団			会派に所属しない		審議結果								
	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根清	小原保信	横田忍	盛岡耕市	佐藤峰樹	高橋修	羽山のみ子	佐藤現	内館桂	本館憲一	小森田郁也	鹿討康弘	似内一弘	伊藤盛幸	照井省三		若柳良明	阿部一男	久保田彰孝	照井明子	櫻井肇	佐々木精市	菅原ゆかり	
議案 137	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	可決	
請 願 8	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	●	採択
意見書案 4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	●	○	○	可決
意見書案 5	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	●	可決
意見書案 6	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	●	可決

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。



佐藤 峰樹 議員

■地域共生社会の実現に向けて

社会福祉協議会各支部が地域主体により策定した住民福祉活動計画を、どのように評価し協働で推進していく考えなのか伺う。

A

社会福祉協議会10支部が2年の歳月を費やして策定した住民福祉活動計画は、それぞれの地域が抱える課題や将来のビジョン等が見える化され、既に企画委員会が検証が始まっている。多岐に渡る福祉課題について、市保健福祉総合計画との整合性を図りながら、効果的に推進する必要があり、同協議会の今後の取り組みを注視してまいりたい。

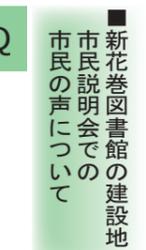


■悪臭公害対策について

岩手県化成油脂協同組合に対して、市が発令中の改善勧告に基づく対策の効果を検証するため実施した、県と市との合同立ち入り検査から把握した内容を伺う。

A

衛生管理の不備や壁がない場所があるなど、県条例に適合していないと疑われる状況が数多く確認された。今までの県の検査で、長年に渡り不適合事案が見落とされてきたと懸念もされる。設置許可者の岩手県において、当該化製場が現時点において事業が許可できる状況にあるのか、しっかりと調査していただくよう要請した。



■新花巻図書館の建設地市民説明会での市民の声について

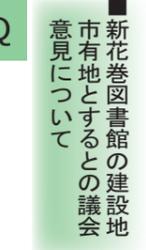
11月10日からの建設候補地比較調査に関する市民の説明会では、参加した大方の市民の意見は、駅前よりも旧総合花巻病院跡地を望む声が多かった。市の受け止め方を伺う。

A

ご意見をいただいた方の声は病院跡地の方が多かった。一方で駅前を望む方もいた。この市民説明会は比較調査の結果を説明し、それに対する疑問点をお聞きし答える内容となっている。行政としては、どちらが多い少ないという評価をするものではないかと捉えている。



本館 憲一 議員



■新花巻図書館の建設地市有地とするとの議会意見について

市有地とは旧総合花巻病院跡地を指すものと解釈するが、議会の総意である建設用地は市有地とすることに對する市の見解を伺う。

A

花巻駅周辺に適切な市有地がない状況において、市が提案する花巻駅周辺およびまなび学園周辺のいずれかとされていた。このことから、市が想定していた花巻駅周辺のJR所有地を図書館建設場所として土地を購入し、市有地としてうえで当該土地に図書館を建設することについては否定されないと考えてきた。



伊藤 盛幸 議員

■新花巻図書館の整備について

市民会議では候補地を決める意見集約はしないと説明していた。それならば意見をどう反映させるのか伺う。

A

市民同士でそれぞれの候補地のメリット、デメリットを話し合い、デメリットについては何らかの形で解決することができないかどうか話し合っていた。そのうえで、どちらの場所がいかによいかにして意見集約を図っていただきたいと考えている。説明が言葉足らずであったとすれば大変遺憾であり深謝する。



■生涯学習の位置づけについて

市長部局で補助執行する社会教育、これを含む生涯学習を次期教育振興基本計画に盛り込むのは妥当か伺う。

A

国が策定した第4期教育振興基本計画は、社会教育を含む生涯学習も対象とした計画となっており、本市の次期計画も同様にしていくと考えている。



照井 省三 議員

■委託先事業所の悪質な法違反への対応について

市が委託契約している事業所におけるパワハラ・退職要求など、悪質な事業所への対応について伺う。

A

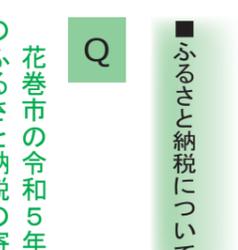
委託事業所における労働条件の調査ではパワハラについては対象としていなかった。パワハラなど悪質な違反への対応については、違反の内容が悪質なものであるかにより判断することとしている。明確なものはないが、他市の状況を見るに、契約の解除やペナルティーを科している。

■夜間の人工透析患者の現状について

小原クリニックは令和7年3月で夜間透析を中止する。働きながら透析をしている方は不安を覚えている。市は承知していたか伺う。

A

市内では小原クリニックが夜間透析していることは押さえている。令和7年3月いっぱい夜間透析を中止することについては承知していなかった。現在、中部医療圏の中で夜間透析を実施しているのは、北上市の北上済生会病院と日高見中央クリニックの2カ所と承知している。



■ふるさと納税について

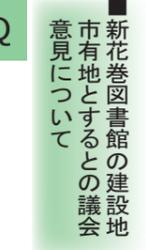
花巻市の令和5年度のふるさと納税の寄附額と寄附額が伸びた要因について伺う。

A

ふるさと納税の寄附額は9億3427万309円。寄附額は県内市町村で1番、東北では2番、全国では13番となっており、全国の皆様から本市のまちづくりのために沢山の寄附をいただいている。寄附額・件数が伸びた要因は、ふるさと納税ポータルサイトに約1400品目の豊富な返礼品を掲載し、返附者のニーズを捉え、返



久保田 彰孝 議員



■ふるさと納税について

礼品の定期便化や数量を変えバリエーションを増やすなど選びやすいよう工夫している。本市においては、牛タン、白金豚、ワイン、飲料製品、温泉宿泊券などの人気の返礼品があり、返礼品提供事業者の皆様には、その人気の返礼品を切れ目なく提供していただいていることが大きな要因と捉えている。このほか、令和5年10月の制度改正により、募集に要する費用の対象が拡大したことで、9月に全国的な駆け込み寄附が発生したこと、ふるさと納税市場が令和5年度に初めて1兆円を超えて拡大していることも要因である。



盛岡 耕市 議員

■イトーヨーカドー花巻店撤退における対応について

イトーヨーカドー花巻店撤退における店舗および周辺施設、近隣の商店街振興組合との対応について伺う。

A

令和7年1月26日に閉店、その後食品スーパーロピアがシーナシーナ花巻として、2階テナントは翌月、スーパーは初夏開業予定となっている。市の情報発信センターの継続開設をお願いしているが、売り場の配置計画もあり検討中とのこと。また、地域貢献を前向きに考えており、地元商店街振興組合と話し合いの機会を設けるとのこと。

■後川の内水氾濫対策について

2年続けて床下浸水が発生している後川の愛宕町地区内水氾濫の対策と、旧瀬川との合流点における堆積物のしゅんせつ(※)について伺う。

A

今年度雄山寺付近のしゅんせつを行う。来年度は浸水多発地域の被災状況要因分析と、現地詳細調査を実施、浸水対策を検討する。合流点から北上川までは県の管理区間であり、鳥谷ヶ崎公園付近は今年度中に、合流点付近は令和7年度以降にしゅんせつを実施する予定。

※しゅんせつ：海や川、貯水池等の水底の土砂を掘り取ること。



はやま 羽山るみ子 議員

■早池峰地域のユネスコエコパーク登録について

Q

ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和、自然と人間社会の共存を目的とする取り組みとして、現在全国10カ所登録されている。早池峰地域のエコパーク登録の条件は十分満たされており、登録に向けての市の見解を伺う。

A

機会を捉えて早池峰の自然環境保護に関して情報提供・情報交換に努めており、エコパーク登録に向けては、関係自治体および関係団体と意見交換していきたい。



■総合花巻病院について

Q

改定事業再生計画が策定され、今後市としてどのように経営に関わるのか。また、院内の状況を把握するため内部公益通報窓口設置などの提言をすることが必要と考えるが市の見解を伺う。

A

市としては、医療機関を経営する知識・技能を有していないため、経営に関する考えはないが、事業再生等ガイドラインに基づき、事業再生計画の実施状況などについて報告を受け、意見を述べることとしている。内部状況については、聞き取りはしているが、さらに外部専門家の調査の必要性は認識している。

■子育て中の母親やシングルマザーの就労支援について

Q

マザーズハローワーク(※)、マザーズコーナーの設置を要望する考えはないか伺う。

A

人口10万人以上、新規求職者が年1万人以上の設置要件に対して当市は新規求職者数4700名程度と設置要件を満たしていないので要望の予定はない。しかしハローワーク花巻にはマザーズコーナーの設置はないものの、子どもを遊ばせながら相談できる環境やひとり親家庭などに対しては専門の支援員が相談に応じる体制は整っている。



しゅうち やすひろ 鹿討 康弘 議員

■不登校児童への対応について

Q

「風の子ひろば」やフリースクールへの親の送迎が負担となり休職や退職せざるを得ない状況となっているが送迎を支援する考えはないか伺う。

A

教育相談員と保護者との連携を深めるうえで送迎時のコミュニケーションは重要と考えているが、送迎が困難な家庭の支援として教育相談員によるアウトリーチ(訪問)支援に取り組んでいる。また今年度から「校内教育支援センター(校内フリースクール)」を中学校6校に設置。通いやすい身近な場所において学びの場が保証されるよう進めている。



あべ かずお 阿部 一男 議員

■米価安定の取組について

Q

全国的な米不足について市の所見と市内の店舗に影響があったのであればその状況と対策について伺う。

A

令和6年は暖冬により1月から3月に積雪が少なく水不足になった。米不足の要因は令和5年産の流通量が減少したことやインバウンドの回復により外食需要が増加したこと。花巻市内でも9月末に米の一時品切れがあったが新米供給が始まり大きな混乱はなかった。



■有機農業について

Q

有機農産物を活用した学校給食を導入する考えはないか伺う。

A

化学肥料や農薬を使わず育てられた作物を導入することで児童生徒の健康と環境教育にも意義があることから、市は試験的導入を検討しているところである。その理由は市内の生産量や流通実態、需要量を確保できるか、高価であることが課題となっているためである。仮に、学校給食で有機米を使用した場合、1日当たり約13万9000円、年間約1810万円の増加となる。

※マザーズハローワーク：厚生労働省が子育て女性に対する再就職支援を目的として開設した施設。



てるい めいこ 照井 明子 議員

■郵便投票の要件緩和を

Q

現行の郵便投票の要件は、介護・障がい等の要件基準が高い。高齢者増加、障がいの多様化で要件緩和が必要だが国の動向等伺う。

A

総務省の有識者研究会が、高齢者の投票環境の向上に向けて、郵便投票の対象者を要介護3まで拡大することが適切と考える報告書をまとめ総務省に提出しているが、法案は提出されていない。市選挙管理委員会では毎年、全国市区選挙管理委員会連合会を通して、郵便等による不在者投票の対象者の範囲拡大を要望している。



■マイナ保険証登録解除の周知を

Q

マイナ保険証の登録解除が、10月28日から可能となった。登録解除の現状および周知について伺う。

A

マイナ保険証の利用登録解除を希望する場合、加入する保険者へ解除申請が必要となる。令和6年12月5日現在、国民健康保険被保険者6名、後期高齢者医療制度被保険者2名から申請があり、問い合わせは10件となっている。解除後は、令和7年7月31日まで有効期限の被保険者証を送り、期限後は資格確認書を送る。広報等で周知をする。

■奨学金返還支援制度について

Q

UIJターン者等が市内で就業した際の奨学金返済支援制度構築の検討状況について伺う。

A

本市では今年度、奨学金支援制度を拡充し、県内他市町村と比較しても充実した内容となったと考えている。

■住宅ストックの有効活用について

Q

移住者、若者の定住対策を図るため市営住宅を安価に貸し出す制度創出の検討状況について伺う。

A

本市の市営住宅は、人口減少等の影響を受け、需要が緩やかな減少傾向にあり、現状、入居可能な空き室は137戸である。今後、市内における市営住宅需要を注視しつつ、県の「いわてお試し居住体験事業」などを参考に、若者が定住しやすい環境整備に向けた具体的な計画を検討していきたい。



さくらい はじめ 櫻井 肇 議員

■消費生活相談事業について

Q

令和5年度における消費生活相談の件数および警察機関との連携など相談事業の内容を伺う。

A

昨年度に受理した相談件数は782件。本年度は10月末で479件と増加傾向にあり、相談を寄せられた市民の半数が60歳代以上である。相談内容に詐欺など犯罪の疑いが認められる場合、速やかに警察に対応していただいているものもある。



■農業振興について

Q

農業法人の経営状況およびスマート農業の成果と現状を伺う。

A

集落営農組織74経営体のアンケート調査の結果では、前年度と比較した収支状況について、「前年度より良い」44%、変わらない25%、悪くなった31%となっている。花巻市農業用ロボット導入支援事業活用件数は令和元年度19件2年度30件3年度29件4年度37件5年度37件と毎年新たに事業を活用する方がいるなど、スマート農業技術の活用がより身近になっている。



こもりたふみや 小森田郁也 議員





議員 一弘 似内

■財政運営について

Q

国の総合経済対策における税制改正の動きに
関し、いわゆる「年収103万円の壁」の引き上げについて市への影響を伺う。

A

仮に所得税の基礎控除額を75万円増やし非課税枠を「103万円」から「178万円」に増やした場合、市においては個人市民税で約16億円、地方交付税では約10億円減収する見込みである。「年収103万円の壁」の引き上げに伴う地方の影響がないよう国において財源手当てをすべきと考えている。

Q

■リノベーションまちづくりについて

官民一体となって取り組みが必要があると考えるが、この構想を実現するために、ロードマップをつくり取り組んでいく考えはないか、市の見解を伺う。

A

現在上町を中心とした社会実験など、リノベーションまちづくりの事業を行っているが、上町を中心としたエリアの価値を高める取り組みは、個々のリノベーションまちづくりに係る事業者の考えにより、それぞれが事業を進めるものであることから、市において、民間事業者が行うそれらの事業について進めるロードマップを策定することは考えていない。



■自殺予防対策について

Q

自殺予防対策としてどのような取り組みが行われているのか伺う。

A

国の自殺総合対策大綱や岩手県自殺対策アクションプランを踏まえ、花巻市自殺対策計画を策定し、関係機関、民間団体、地域および市民が相互に連携しながら予防対策に取り組んでいる。このころの健康状態をチェックできる、このころの体温計サイトや各種相談先を一覧にして作成し、その活用について広く周知をしている。

Q

■小中学校のいじめ問題について

小中学校におけるいじめの現状と、対策について伺う。

A

令和5年度、小学校141件、中学校77件、令和6年度、10月末時点で、小学校100件、中学校48件のいじめが報告されている。花巻市いじめ問題対応マニュアルを基に、花巻市いじめ問題対策連絡協議会を開催し、医師や弁護士、心理療法士、学識研究者などの専門家から助言をいただき、いじめ防止に取り組んでいる。



議員 精市 佐々木



Q

■市内の防犯について (市営住宅)

防犯カメラを設置する考えはないか伺う。また共用廊下の照明をLED化や、センサーライトに替える考えはないか伺う。

A

全国的にプライバシー保護の観点から、特別な理由がある場合を除き、防犯カメラを設置した事例はない。入居者総意のもと、自己負担で設置、管理を行う場合は市への申請が必要である。共用廊下のLED化は計画的に、必要に応じてセンサーライトなど設置を検討していく。



議員 かり 菅原

Q

■イトーヨーカドー花巻店の撤退について

撤退後の移動スーパー(とくし丸)の運行について伺う。

A

令和6年9月末からイトーヨーカドー本社を通じて市内のスーパーマーケットのリストを移動スーパー運営会社に提供した。その上で、今あるスーパーマーケットと協議をしていると話を聞いている。イトーヨーカドー花巻店のとくし丸が令和6年で終わるが、切れ目なくできるかどうかは難しいという話を受けている。



市内27会場で議会報告会を開催 (7月29日～31日、8月5日～7日)



7月29日(月)～31日(水)および8月5日(月)～7日(水)の6日間、市内27会場で議会報告会を開催しました。猛暑の中、延べ248名の市民の皆さんにご参加いただき、市政の諸課題や議会活動について説明、意見交換を行いました。会場で出された意見などを一部掲載します。

★回答や対応等は市議会ホームページに掲載しています。

- ・悪臭問題についての取組は現在どうなっているのか。
- ・石鳥谷地域の小学校の統合について、前向きな声を多く聞いている。早く進められるよう議会からも声をあげていきたい。
- ・少子化に伴い様々な後継者問題が深刻であるが議論は出されているのか。
- ・補助金だけの対策ではなく、抜本的な鳥獣対策をしっかりとってほしい。県や国に要望していただきたい。
- ・今後の農業のためにも、有機農業を進めていただきたい。



- ・消防団の団員数がどんどん減っている。消防団の方でも行事の削減など行っているが団員数の減少に歯止めがかかっていない。
- ・普段は市の情報について文字で知るだけである。この懇談会に参加し初めて理解することができた。地域の大きな課題は地域づくりを推進する人材がなかなか見つからない事である。地域の集まりに参加者が少なく今後どうしたら「将来につなぐ」ということを地域の方々に関心や理解をしてもらえるのか心配だ。投票所が堅苦しい。もっと工夫が必要ではないか。



実施結果はこちら

第2回議会モニター会議を 11月28日(木)に開催しました



この会議では、令和6年10月までに寄せられた意見に対する対応を説明しました。さらに、令和6年7月から8月にかけて開催した議会報告会の状況を基に、「議会報告会について」というテーマで、参加者の集まる議会報告会をどのように実現するかを議会モニターの皆さんとワークショップ形式で意見交換を行いました。
議会モニターの皆さんからは多くの貴重な意見をいただき、大変有意義な意見交換となりました。今後の議会報告会の運営に反映させるべく、いただいた意見を参考に検討を進めていきたいと考えています。



ワークショップ形式で意見交換

◎意見交換で出された意見を一部ご紹介します

- ・27振興センターをまわるのではなく、市内4会場にまとめて開催してほしい。
- ・対象をさまざまな団体としては。
- ・学生が大人になってから議会やまちづくりに興味を持てるように、学校で開催してはどうか。
- ・身近な話題をテーマにすれば、子育て世代や就労世代にも参加してもらえないか。
- ・親しみやすい名称に変えてはどうか。
- ・ワークショップ形式がよい。
- ・2〜3年に一度の開催としてもいいのではないか。

12月定例会では、文教福祉常任委員会が第8号請願の審査を行いました。審査の結果、第8号請願は採択すべきものと決しました。

請願審査

◆第8号請願(採択)

「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性のある学校の働き方改革を求める意見書の提出を求めることについて

審査において、委員からは「まずは国の動向を見極めたうえで検討していくことが重要ではないか」「処遇改善については検討すべき」「53年前の公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法を廃止し、労働基準法を適用すべき」「単に教員の給与の問題にとどまらず、子どもを守るためにもこの請願は採択すべき」「教員のなり手不足や長時間労働の問題解決のためには公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法を廃止し、労働基準法を適用すべき」との意見がありました。

採決の結果、賛成多数で採択すべきものと決しました。

定例会最終日の本会議で委員長報告を行い、採決を行った結果、委員長報告のとおり決しました。

※請願全文は市ホームページに掲載しています

意見書を提出

◆厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

地方分権及び地方創生の進展とともに、加速する人口減少社会への対応が、我が国の将来にとって喫緊の政治課題となっている。地方公共団体の重要な意思決定を行う地方議会は、多様化する民意の集約と地方行政への反映が期待されており、その果たすべき役割と責任は重要性を増している。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民とのコミュニケーションを深めるとともに、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。このような活動範囲の広がりに伴い、近年においては議員の専門化が進んでいる。

一方、今日では、就業者の9割を会社社員等の被用者が占めており、地方議会議員のなり手も会社社員等からの転身者が期待されている。

地方議会議員が厚生年金に加入できるようにすれば、会社員等が議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けることができ、家族の将来や老後の生活を心配することなく議員に立候補し、議員活動を続けることができる環境が整うことになる。多様で有為な人材の確保に大きく寄与すると考えられる。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における多様な人材確保の観点から、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

◆「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止を求める意見書

昭和46年に制定された「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」(以下「給特法」)では、教員の勤務と勤務態様に特殊性があるとして、一律に給与月額額の4%を教職調整額として支給し、時間外勤務手当を支給しないことが定められています。しかし、実質的には教職調整額総額以上の残業をしている実態があることから、適正な時間外勤務手当が支給されるべきです。さらに、令和6年4月には、猶予期間が設けられていた5業種に労働基準法に基づく時間外労働の上限規制が適用され、社会全体が勤務時間の適正化に向かう中、「給特法」適用の教員については勤務時間の改善が行われなまま放置されています。

令和6年8月、中央教育審議会は「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について(答申)を文部科学大臣に手交しました。「学校の働き方改革の更なる加速化、学校の指導・運営体制の充実、教師の処遇改善」が示されましたが、教職調整額の増額では長時間労働の是正にはなりません。よって、国においては、教職員の勤務環境の改善を進め、教職員が一人一人の子供に十分向き合える環境の整備と子供たちの豊かな学びを保障するため、次の措置が講じられるよう、意見書を提出いたします。

1 「給特法」を廃止し労働基準法を完全適用すること。

◆実効性のある学校の働き方改革を求める意見書

今、学校現場では、教員希望者の減少に加え、病気休職者の増加や早期退職者の増加など、深刻な教職員不足により子供たちの豊かな学びを保障するためには、教職員の勤務環境の改善、とりわけ長時間労働の是正が喫緊かつ最大の課題です。

令和6年4月に、猶予期間が設けられていた5業種に労働基準法に基づく時間外労働の上限規制が適用され、社会全体が勤務時間の適正化に向かう中、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」適用の教員については勤務時間の改善が行われなまま放置されています。

令和6年8月、中央教育審議会は「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について(答申)を文部科学大臣に手交しました。「学校の働き方改革の更なる加速化、学校の指導・運営体制の充実、教師の処遇改善」が示されましたが、教職員の健康と福祉を守るための具体的な業務削減策は不十分であり、長時間労働の是正にはなりません。よって、国においては、教職員の勤務環境の改善を進め、教職員が一人一人の子供に十分向き合える環境の整備と子供たちの豊かな学びを保障するため、次の措置が講じられるよう、意見書を提出いたします。

1 実効性ある学校の働き方改革を進める観点から、国として具体的業務削減策を示すこと。

産業建設常任委員会 所管事務調査

11月25日、花巻市起業化支援センターおよび株式会社ヴォーグ様を訪問し、花巻市起業化支援センターについて調査を実施しました。

初めに、県内初の創業支援施設として平成8年に開設した同センターでは、研究室や工場を賃貸し、測定・試験機器を開放しているほか、専門のコーディネーターが常駐し、入居企業だけでなく市内企業全てを対象に外部経営資源とのマッチングなどを実施しているとの説明を受けました。こうした活動もあり、昨年度には入居企業が100社を突破し、卒業企業も8割近くが事業を継続しているなど成果を上げているとの説明がありました。今後は、変化するニーズに対応した事業を展開するなど引き続き産業創造活動に取り組むとのことでした。

その後、令和6年4月に同センターを卒業し、市内に

新工場を建設した株式会社ヴォーグ様を訪問しました。同社は、精密機械部品を製造し、全国の大手企業に出荷しているなどの説明があり、卒業した企業が高い技術力を生かし活躍されている状況も確認することができました。



花巻市起業化支援センター 所管事務調査



ワークショップ形式での自由討議

花巻市議会議員報酬調査検討小委員会でもより詳細に議論。

小委員会では、議員報酬の改定について一関市議会へ行政視察に伺ったほか、令和6年12月までに計9回委員会を開催し、現状の把握や他市議会報酬額との比較など、詳細な議論を進めています。

特別委員会で開催した自由討議で委員から出された意見も踏まえながら、適正な議員報酬額や報酬額を改定する場合の時期、市民との意見交換の実施などについて、今後も議論を深めていきます。

花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会を開催し、全委員で自由討議を実施。

12月18日に開催した委員会では、初めに、議員報酬の見直しに関連して4月から9月までの6カ月間実施していた議員活動の実態調査の結果を報告。続いて、議員報酬等に対する委員各位の意見を聞くため、ワークショップ形式での自由討議を実施しました。

委員からは、「合併以前の旧花巻市の報酬を踏襲しており、報酬額が変わっておらず、近隣市と比較して低い状況であり引き上げるべき」といった意見や「今後議員を目指す人が魅力を持てる額にするべき」「報酬の引上げも必要だと思うが、議員活動の活性化も必要」などの意見が出されました。



花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会

常任委員会等の活動報告

総務常任委員会

- ◆ 11月8日(金)
 - * 所管事務調査「いわて消防指令センター総合整備事業の進捗状況について」



- ◆ 12月16日(月)
 - * 所管事務調査「花巻市公共施設マネジメント計画について」
 - * 協議「令和6年議会報告会における所感について」
- ◆ 1月22日(水)
 - * 所管事務調査「消防団員確保策と統廃合の進捗について」

産業建設常任委員会

- ◆ 11月25日(月)
 - * 所管事務調査「花巻市起業化支援センターについて」
- ◆ 12月17日(火)
 - * 所管事務調査「空き家問題に関する総合的な取組について」
 - * 協議「令和6年議会報告会における所感について」
- ◆ 1月21日(火)
 - * 所管事務調査「予約乗合交通について」

文教福祉常任委員会

- ◆ 12月16日(月)
 - * 請願審査「公立の義務教育諸学校の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性のある学校の働き方改革を求める意見書の提出を求めることについて
 - ▷ 審査結果・・・採択
 - * 協議「令和6年議会報告会における所感について」
- ◆ 1月9日(木)
 - * 所管事務調査「桜台小学校の長寿命化について」



桜台小学校 所管事務調査

議会改革推進会議

- ◆ 12月18日(水)
 - * 特別委員会の委員任期について
 - * 会議出席時の服装について





みなみ はる
南 羽流 さん
 (花巻東高校2年)

花巻市の未来へ ちょっと一言。



にitta ふみこ
新田 文子 さん
 (上小舟渡)

未来を担う私たち

私が生まれ育ったこの花巻市は、世界で活躍できる若者をつくり出せる街だと思います。本校の卒業生でもある大谷翔平選手をはじめ、世界へ羽ばたいていく若者がたくさんいることを大変誇らしく思います。花巻市には、若者たちが自分の夢の実現のために惜しみなく努力ができて定住したくなる環境づくりを望みます。

す。学費の無償化や若者の遊ぶ居場所づくりなど、高校生が考える課題を行政に届けていくことができればと考えます。少子化によって未来が不透明だからこそ、これからの未来を担う私たちが花巻市をよりよくするために考え行動することで、より活発で魅力的な街になると私は考えます。

花巻をみんなで素敵なまちに

市内でお店を営む私は、市外のお客様から、花巻はいいねと憧れの声をよく聞きます。確かに花巻は宮沢賢治や温泉など豊富な観光資源がある町ですが、まちづくりは？ 中でも空洞化した町なかは活気がなく、夢や希望がある魅力的な町にするには新花巻図書館が新たな起爆剤になると思います。図書だけでなく、全世代の憩いや刺激の場になる空間。それには花巻病院跡地が最適で、上町商店街などの活性化に繋がります。跡地の署名活動に奮闘する年長者たちは「自分が生きていくうちにできないかも」「図書館は人づくり」「あと50年誇れる図書館を残したい」熱い市民の声を受けて一緒にやるまちづくりはワクワクします。

議会の動き 11月～1月

- 11月8日 総務常任委員会
 花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
- 15日 広聴特別委員会
- 25日 産業建設常任委員会
- 28日 広聴特別委員会(第2回議会モニター会議)
- 12月3日 議会運営委員会
- 12月6日～20日 令和6年第4回定例会
 6日 議会運営委員会、広報特別委員会
 13日 議会運営委員会
 16日 総務常任委員会、文教福祉常任委員会
 17日 産業建設常任委員会
 18日 議会改革推進会議、広聴特別委員会
 20日 議会運営委員会
- 令和7年
 1月7日 広報特別委員会、広聴特別委員会
 9日 文教福祉常任委員会
 14日 広報特別委員会
 20日 広報特別委員会
 21日 広聴特別委員会、産業建設常任委員会
 22日 花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
 総務常任委員会
 23日 議会運営委員会
- 1月28日 令和7年第1回臨時会

議会傍聴にぜひお越しを！！

- 【12月定例会】
 本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数57人
- 【3月定例会】
 2月26日(水)開会
 詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか市議会のホームページをご覧ください。
 議会事務局 0198-41-3598(直通)

議会中継をスマホ・PCで視聴できます！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン・タブレットやパソコンからリアルタイム視聴ができるほか、録画配信もしています。
 また、えふえむ花巻 FM One 78.7MHz では後日、録音した一般質問の音声を放送しています。

【広報特別委員会】	
委員長	羽山るみ子
副委員長	小原 保信
委員	小森田 郁也
	鹿討 康弘
	及川 恒雄
	伊藤 忠宏
	佐々木 精市
	櫻井 一男
	阿部 一男

議会 YouTube を
 ぜひご視聴ください！

